

II 子どもから大人まで “個々が輝くまち”

- 1 子どもがのびのび学べる環境づくり
- 2 子どもの成長をサポートする基盤づくり
- 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
- 4 互いに尊重・理解し合う環境づくり

施策 1 子どもがのびのび学べる環境

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅱ

基本方針

- 子どもたちが、さまざまな体験や学びを通じて自身の夢や希望を持ち、積極的に挑戦し続けられるよう、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。

関連する個別計画

- 川口市教育大綱
- 川口市教育振興基本計画

キーワード

主な背景事象

- ①
- 明るく元気な子どもの成長を促す幼児教育の推進
 - 学力・徳力・体力向上の推進
 - 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- 幼児期の教育は、生涯にわたる人格の基礎を形成する大切なものです。さまざまな生活体験を通した子どもの成長が必要です。また、小学校教育との円滑な接続を図るために、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた取り組みを行うことが重要です。
- グローバル化など多様な変化が今後も予想される社会においては、基礎的な知識の定着と学力の向上とともに、それを実生活で活かすための思考力・判断力・表現力が必要となっています。また、自らを律し相手を思いやる心と、健やかな体を育てる求められています。
- 特別な支援を必要とする子どものニーズが多様化していることから、きめ細かな対応が求められています。

- ②
- 学力向上のリーディング校となる川口市立高等学校の教育環境の充実

- 市立高等学校3校を再編・統合して平成30年4月に開校した川口市立高等学校には、知・徳・体の調和のとれた人材の育成や、本市の将来を背負って立つ地域社会のリーダーの育成が求められています。また、本市全体の学力向上を担うリーディング校としての役割も求められています。



川口市立高等学校（アリーナS棟）



川口市立高等学校（アリーナ棟外観）

づくり

目標指標

指 標

現 状 (年 度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	28.2 (R2)	現状値を上回る
埼玉県学力・学習状況調査結果において県平均を上回る項目数 (全 14 項目) [項目]	9 (R1)	10
新体力テストの達成度 (小 6) [%]	56 (R1)	56
新体力テストの達成度 (中 3) [%]	56 (R1)	68

単位施策と主な取り組み

幼稚園・小学校・中学校教育の充実

- 市立幼稚園においては、家庭と連携し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、遊びを中心とした自然体験や社会体験、知的発達を促す体験などを通し、知・徳・体の素地形成に向けた教育活動を推進し、明るく元気で笑顔を絶やさぬ子どもの成長を促します。また、小学校への移行を円滑にするために、発達の段階を踏まえた教育を推進します。
- 義務教育課程においては、学力の3要素である（1）基礎的・基本的な知識・技能の定着、（2）思考力・判断力・表現力の育成、（3）主体的に学習に取り組む態度の育成に力を注ぎます。同時に、指導の充実・改善に努め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために授業力の向上を推進します。また、さまざまな学力向上支援を実施し、学びへの興味を喚起するとともに、科学的な見方や考え方を養い、自ら表現をしていくような取り組みを推進します。
- 子どもたちが、自他の命を尊重し、それぞれの大切さを認めるという態度や行動がさまざまな場面で現れるよう、人権教育の充実を図るとともに、道徳教育を推進します。また、子どもたちが積極的に地域社会に触れることで、将来の夢や希望を抱き、生活や学習が豊かになるよう、職業体験や自然体験、映像学習などをはじめとする、さまざまな体験活動を展開します。
- 運動技能や体力を向上させる授業を充実させ、子どもたちに生涯にわたって、運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる取り組みを実施します。また、学校給食の充実や健康管理・健康増進などの支援を行うことにより、食や自身の健康に関する正しい知識や判断力を養います。
- 特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握したうえで、必要な支援を検討し、将来に向けた自立と社会参加を視野に入れた特別支援教育の体制づくりを推進します。

高等学校教育の充実

- 川口市立高等学校を本市の教育拠点とし、学力向上のリーディング校にするため、地域社会や SKIP シティを中心とする産学官と連携しながら、施設・人材・教材などの充実を図り、地域社会のリーダーとなる人材を育成するための環境づくりを進めます。また、川口市立高等学校で中高一貫教育を実施することにより、6 年間を見通した計画的・継続的な教育課程を展開することが可能となり、生徒の個性を伸ばすとともに、才能を発見し、幅広い年齢の集団活動により、社会性や豊かな人間性を育成します。
- 科学技術や理科、数学などの自然科学分野の知識や技術の習得に注力し、科学技術創造立国である我が国をリードする人材を育成します。
- 文武両道の教育方針のもと、大学や民間教育機関などとの連携による学力向上を進めます。また、生徒の多様な興味や関心、進路希望に対応したキャリア教育を実践することで、進路保証ができる教育を推進します。

施策 2 子どもの成長をサポートする基盤

序論
基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅱ

- 学校・家庭・地域と行政が相互に補完・連携しながら、さまざまな社会経験の場や見守りの機会を増やし、子どもの成長をサポートする基盤をより強固なものにしていきます。



子ども自然体験村



通学合宿

キーワード

- 指導力の高い教員の育成・確保
- インターネットなど情報社会の進展への対策
- いじめ問題、不登校の解決
- 教育機会の確保

1

主な背景事象

- 教員の世代交代が急速に進む中にあって、学校教育の質の維持向上を図るために、優れた指導力や高い使命感を持つ教員の育成と確保が必要です。
- 情報化の進展がめまぐるしい現代においては、情報活用能力を身に付ける必要がありますが、インターネットなどの使い方によっては、依存による生活習慣の乱れや犯罪・トラブルに巻き込まれる危険性があることから、情報モラル教育の充実やセキュリティの向上が求められています。
- 本市では全国的な傾向と同様に、中学生に不登校の問題が多くみられます。不登校やいじめの問題については早期発見と一人ひとりに適した対応が重要となっています。
- 戦後の混乱期に学校に通えなかった人や、不登校など何らかの事情により学校に十分通えなかった人、また、出入国管理法の改正により外国人の増加が見込まれる中、学びを必要とする人に対して教育の機会を確保することが重要となっています。

- 学校応援団活動の充実
- 体験活動の奨励
- 青少年指導者の養成・資質向上
- 地域コミュニティの希薄化
- 困難をきたす子ども・若者への対応

2

- 子どもの心や体の成長には、学校だけではなく、家庭や地域も大切な役割を担っています。学校・家庭・地域が役割分担を明確にしつつ、相互に補完し、連携して子どもの成長を見守る必要があります。
- 少子化・核家族化の進展や、地域コミュニティの希薄化などにより、子どもの活動の場が狭い範囲になる傾向があります。子どもが自ら考え、行動する習慣を身に付け、自己肯定感を持って成長できるよう、自然体験や生活体験の機会を提供し、また、地域活動などを通して、積極的な社会参加を促すことが大切です。
- 地域のつながりが希薄化しており、子どもの行動が外部から認識されにくく、問題が深刻化しやすくなっています。
- 子どもや若者を取り巻く環境が変化する中で、ニートやひきこもり、不登校、発達障害など、さまざまな要因により社会生活を送ることに困難をきたす子どもや若者への対応が求められています。

目標指標

指 標

現 状 (年 度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	35.1 (R2)	現状値を上回る
不登校児童の割合（小学校）[%]	0.74 (R1)	現状値を下回る
不登校生徒の割合（中学校）[%]	4.25 (R1)	現状値を下回る
地域の人に勉強や運動を教えてもらっていると感じている児童の割合（小6）[%]	41.8 (R1)	現状値を上回る
地域・社会をより良くするための参画意識（中3）[%]	35.3 (R1)	現状値を上回る

単位施策と主な取り組み

学校の教育力向上

- 学校の教育力を向上させるためには、教員の指導力の向上や、さまざまな問題解決能力の向上を必要としていることから、教員に対する各種研修を充実させ、学校教育を担う教員の資質向上と確保に努めます。
- 学校教育においてICTの積極的な活用を図り、子どもの情報活用能力を向上させるとともに、インターネットやSNS上の誹謗中傷や個人情報流出といった諸問題に対応するため、情報モラルやセキュリティの大切さを理解する機会を設けます。
- 多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びをめざすGIGAスクール構想の実現に向けて、ICTの活用に特化した教職員研修の充実を図ります。
- いじめ問題や不登校などの課題については、子どもの人権に関わる重大な問題であるとの認識のもと、学校内だけでなく家庭や地域と連携を図り、教育相談を丁寧に行なながら、根絶・解消に努めます。また、問題が深刻になる前に解決できるよう、未然防止や早期発見のための取り組みを実施します。
- 公立夜間中学を開設したことにより、学びを求める多くの人に学習の機会を保障するとともに、教育課程の工夫により、学びを充実させることで人生を豊かにするとともに、社会参加できる人材の育成を図ります。

地域の教育力・健全育成活動の充実

- 学校運営協議会と地域学校協働活動が連携・協働しながら、地域住民等の参画を得て取り組む学校応援団や放課後子供教室の活動を基礎に、学校と地域等を双方向の関係に発展させ、地域全体で子どもの学びや育ちを支えます。
- 子どもが生きる力を身に付け、将来、自立した社会生活が営めるよう、各種体験事業などを実施します。また、地域活動やボランティア活動、世代間交流などへの積極的な参加を促し、地域への愛着や連帯意識を持ち、他者を思いやることができる人づくりを行います。
- 子どもに体験活動の機会を提供する青少年団体の活動を促進し、指導者の養成や資質向上に努めます。
- 学校・家庭・地域などと連携し、子どもや若者を非行や犯罪から守り、健全な育成に望ましい環境づくりを推進します。また、市民意識の高揚を図るために、啓発活動などを継続的に展開します。
- 困難をきたす子どもや若者に対し適切に相談・支援ができるよう、関係諸機関が連携を図りながら社会全体で支援できる体制づくりを推進します。

施策 3 市民が自己実現をめざせる環境

序論
基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅱ

基本方針

- 自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

関連する個別計画

- 川口市子ども読書活動推進計画
- 川口市文化芸術基本計画

キーワード

主な背景事象

①

- 生涯学習活動の拠点としての公民館
- 生きがいづくりや自己実現に応える市民大学
- ネットワーク機能を活用した図書館サービス
- 常に新しい発見ができる科学館

- 本市では、これまでにも、さまざまな生涯学習機会を提供してきましたが、ライフスタイルや価値観の変化により、生涯学習へのニーズが多様化している中、公民館や図書館、科学館では、それぞれの機能を活かし事業を推進しています。

②

- 地域コミュニティの拠点としてのスポーツ施設
- 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動

- 本市は、これまで青木町公園総合運動場や多くのスポーツセンターを中心にスポーツ・レクリエーション活動が活発に行われてきました。スポーツ団体などのサポート組織が充実していることも大きな特徴です。
- 高齢化の進展により、健康増進や生きがいづくりといったスポーツへのニーズがますます増加することが想定されます。

③

- 文化芸術に対する意識の向上
- 文化の発信拠点であるリリア
- アートの新たな発信拠点となる美術館の整備

- 心豊かな生活を送るため、文化芸術に触れる機会が求められています。また、本市に脈々と息づいているものづくり産業と優れた文化芸術が結びつくことで、新たな創造や活動が地域に根付くことが期待されます。
- 本市は中核市に移行し、文化芸術の分野においても、中核市に相応しい文化施策の充実と環境整備が求められています。



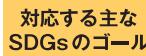
科学館（科学展示室）



川口マラソン大会



リリア



づくり

目標指標

指 標

現 状 (年 度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	34.4 (R2)	現状値を上回る
生涯学習施設の利用者数 [人]	6,202,448 (R1)	6,559,586

単位施策と主な取り組み

生涯学習活動の支援

- ・公民館などでは身近な生活に関わる今日的課題や市民のニーズに合わせた市民大学事業などの学習機会を提供し、自己充足を図ります。併せて、学習成果や地域の人材資源を地域づくりに活かす仕組みづくりを推進します。
- ・図書館では、市民の知的欲求に応えるため、計画性のある図書館資料の収集、保存に努め、調べものを手伝うレファレンスサービスを充実するとともに、あらゆる世代が読書に親しむ機会を提供し、生涯学習活動を支援していきます。
- ・科学館では、見て触れる展示装置や身近な事象をテーマにした科学イベント、特色のある3つの天文台、リアルでダイナミックなプラネタリウムなど、市民が自ら科学の楽しさを発見する場や機会を提供します。

スポーツ・レクリエーション活動の支援

- ・スポーツ施設において、大会やさまざまなイベントを行い、市民の体力向上を推進し、心の充足を図ります。
- ・各競技団体を支援していくことで、競技人口の裾野を広げるとともに、人材の育成に力を注ぎ競技力の向上を図ります。

文化芸術活動の支援

- ・リリアやアートギャラリー・アトリアなどにおいて、誰もがゆとりとうるおいを実感できる心豊かな市民生活の創出をめざし、優れた文化芸術に親しむ機会を提供することで、文化芸術意識の向上を図ります。
- ・市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を支援していきます。
- ・文化芸術を担う人材を発掘し、将来の文化芸術の担い手の育成を図ります。
- ・中核市に相応しい文化芸術の高揚を図るとともに、新たな美術館の建設をめざします。
- ・本市に寄贈された作品を本市の歴史、文化、産業等とともに紹介する展覧会を市内産業団体等と連携して実施します。

施策 4 互いに尊重・理解し合う環境

序論

基本構想

後期基本計画

資料編

めざす姿Ⅱ

基本方針

- ・さまざまな交流や啓発の機会を設け、誰もがお互いを尊重・理解し合える環境を整え、人権を尊重し、差別のない、みんなで支え合うまちをめざします。

関連する個別計画

- ・第2次川口市男女共同参画計画《改訂》
- ・第2次川口市多文化共生指針

キーワード

主な背景事象

- ・さまざまな人権問題
- ・人権問題の複雑化

①

- ・人権問題は、市民一人ひとりの意識によるところが大きく、市民の人権に対する意識は高まっているものの、偏見や理解不足による差別や虐待といった人権問題は今なお存在しています。
- ・少子高齢化やライフスタイル・価値観の多様化によりさまざまな人権問題が絡まり合うなど問題が複雑化しています。

- ・性別による固定的な役割分担意識
- ・ワーク・ライフ・バランスの必要性

②

- ・「男性は仕事、女性は家庭」といった性別による固定的な役割分担意識はいまだ根強く残っています。
- ・社会におけるさまざまな男女間格差を一因とするDVやセクシュアルハラスメントなどが問題となっています。
- ・過度な長時間労働による男性の家事・育児への参加率の低さや、子育て期の女性の就業率の低さなど、ワーク・ライフ・バランスの必要性も問われています。

- ・外国人住民の増加
- ・多文化共生社会の形成

③

- ・外国人住民は増加を続けており、異文化との出会いが増えたため、文化の違いを尊重し理解し合うことが求められています。
- ・グローバル化が進む時代においては、外国語能力や表現力といったコミュニケーション能力を高め、異文化を理解するとともに文化の違いを尊重し、国際交流に対し意欲的に行動できる人材が求められています。



田口八重子さん写真展



川口市外国人による日本語スピーチコンテスト

づくり

目標指標

指標

現状(年度)

目標値(R7)

この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	35.0 (R2)	現状値を上回る
各種審議会・委員会への女性の登用率 [%]	28.5 (R2)	35.0
多文化共生関連事業の参加者数 [人]	1,539 (R1)	外国人人口の伸び率を上回る

単位施策と主な取り組み

人権を尊重した社会づくり

- 人権尊重都市宣言の趣旨に則り、自由で平等な明るい社会の実現をめざします。
- 人権教育・啓発・相談といった事業を積極的に推進し、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人などに対する偏見と理解不足から生じる差別や、同和問題、インターネットによる人権被害といったさまざまな人権問題の解決に向けて取り組み、平和で人間性豊かな地域社会の創造をめざします。
- 拉致被害者を抱える自治体として、北朝鮮拉致問題を啓発し、解決に向けた活動を支援します。

男女共同参画を進める意識・環境づくり

- 情報紙・啓発誌の発行やセミナーなどの開催により、性別による固定的な役割分担意識を見直し、家庭・職場・地域などあらゆる場で、男女がともに活躍する社会を推進していきます。
- DV やセクシュアルハラスメントなどの人権侵害に関する啓発や相談により、発生の防止や解決に向けての情報提供を行っていきます。
- さまざまな分野における方針の企画・立案及び決定過程への女性の参画を推進していきます。

国際理解・交流の推進

- 日本における生活ルールや習慣を啓発することなどにより、外国人が地域社会にとけこみ、文化の異なる日本で安心して日常生活を送れるように支援します。
- 市民・地域・団体・行政が連携して、異文化を相互に理解し、多文化の交流を推進することにより、多文化共生社会の形成をめざします。
- 国際交流に対する認識や意欲、能力を備えた人材を育成し、国際交流活動を推進します。

各種審議会・委員会への女性の登用率

